

# 広報広聴会議

日 時 令和7年2月19日（水）午前11時

場 所 全員協議会室

---

1 広報部会の活動について

2 広聴部会の活動について

3 その他

2025年(令和7年)2月13日

広報広聴会議 広報部会

## 令和7年度の広報活動について

### 1. 広報活動の目的

- ① 定例の各議会や委員会はじめ、議会活動の内容を市民に分かりやすく情報提供する。
- ② 議会の在り方や、議会の役割、議会・議員の活動などについて、市民に興味・関心を持ってもらい、理解と協力を得る。
- ③ 市民ニーズや市民の声をたえずリサーチして広報活動(特に議会だより編集)に生かすとともに、それらを議会活動にどのように反映したかを市民にフィードバックさせる。

### 2. 広報活動の基本方針

- ① 定例の各議会を客観的・かつ正確に、議会としての立場から報道することを中心にした議会だよりを、さらによりよいものに改革して編集・発行する。(議会だよりの編集・発行については別紙で詳細に提案) 議会だよりの活用(配布場所・意見収集の手段の開発)についても改革を進める。
- ② 議会だよりとともに、議会活動の広報手段として、SNS発信を手掛ける。当面は Facebook の亀岡市議会ページの投稿を続けて行っていく。Facebook の投稿の基本的ルールやマニュアル、役割分担を明確にする。また、あらたなツールの開発・研究を行う。
- ③ 委員会などの YouTube 配信についても積極的にかかわり、撮影、簡単な編集、配信を部会としても担当できるよう、それらの技術を習得する。
- ④ 絶えず広聴部会との連携をとり、議会(議会運営委員会等)との間で、「報告」「連絡」「相談」を密にとる。
- ⑤ 亀岡市のホームページ上の「亀岡市議会」のページの更新についても意見や提案ができるように、広報部会としてもかかわっていく。
- ⑥ その他、あらゆる角度・視点から広報活動に関わるアイデアや工夫を部会で出し合っていく。

### 3. その他

- ① 決定した広報部会の方針や活動について、広報広聴会議で報告し、共通理解を得る。
- ② 議会だよりはじめとする広報活動の改革について、広報部会で検討を行い、新たな計画については広報広聴会議から議会運営委員会に報告・提案して合意をもって進める。
- ③ 広報部会のグループLINEを有効活用して、部会以外でも連携をとる。(担当事務局もグループに入る)

## 議会だよりの編集について

### 1. 編集の目的

- ① 定例の各議会の内容を市民に分かりやすく情報提供する。
- ② 議会の在り方や、議会の役割、議会・議員の活動などについて、市民に興味・関心を持ってもらい、理解と協力を得る。
- ③ 広報広聴会議の活動の結節点、広報広聴活動を知らせるツールとして、広聴活動の紹介、収集した市民からの声・意見の紹介などを行う。

### 2. 編集にあたっての共通認識

- ① 広報部会で編集するが、広報広聴会議として発行すること、発行責任は議会・議員全体に係ることを認識して編集にあたる。そのためには、絶えず広聴部会との連携をとり、議会(議会運営委員会等)との間で、「報告」「連絡」「相談」を密にとる。
- ② 議会だよりは、「市民にページを開いてよんでもらってナンボ」である。市民が読んでみたくなる紙面づくりの努力なしに広報活動は成り立たない。
- ③ 上記のために、以下のような点を留意する
  - 視覚に訴える工夫を行う。ユニバーサルフォントの使用、色弱の方でも読めるような色の配慮も。
  - **全頁カラーであることを有効に活用する。**
  - 表紙の工夫(表紙で読者を惹きつける「フォーカス」に工夫を)
  - 掲載ページ順序の工夫(読みやすいもの、注目されるもの、重要なものから順に)
  - ページレイアウトの工夫
    - ・ **写真・イラストの効果的配置**
      - 写真の大きさや向き、位置も重要。
      - 写真には効果的なキャプションをつける。
      - イラストやカットは癒しや和みを与える。
      - かめまるくん、しんがくんキャラクターの活用。議員が表現しにくい内容も代弁してくれる。
    - ・ **見出しの工夫**
      - 大きく、短く、イメージしやすいものを。
      - 長い文章には小見出しをつけて分ける。小見出しを読めば要約されているというように。
      - 読者は見出しだけ見ていくので、スルーされたらおしまい。
    - ・ **リード及び本文の工夫**
      - 客観的な報道で、簡潔なリード文(リード文を読めば概要がつかめる)で誘導
        - ※ 例・・・5W1H→When(いつ)、Where(どこで)、Who(だれが)、What(なにを)、Why(なぜ、なんのために)、How(どのように)
        - ※ できる限り、要点以外の無駄な言葉を削ぎ落して、字数を少なくする。結論がわかりやすくする。結論のない文章では読者は、消化不良になる
      - 読みやすさ、見やすさを優先。文字を大きく、少なく
        - ※最低でも12P。この間、それまでの字数を7~8割に削減する努力をしてきた。
        - ※太字や囲みも有効に活用
      - 市民目線で、理解しやすい言葉を使う。行政用語で済ませない。

※どうしても言葉を変えられないときは、解説文を挿入など。

- 余白の有効活用（字が大きいと読みやすいが、詰め詰めだと疲れる。文字が小さくなくても余白を作るほうが読みやすい場合もある）

○カラー化しても、リード文・本文は黒字とする

※読者の目が紙面を追う順序は？ 写真・イラスト➡大見出し➡リード文➡小見出し➡本文  
詳細記載の「本文」まで読ませる見出し・リードのレイアウト工夫を

※左開き縦書きの紙面で、読者の目が紙面を追う順序は？ 右上➡左下（斜めに読む）

→左上が結構盲点になる。囲み記事

④ 絶えず市民を意識して、情報収集に努める。

- 市民の声が載っていると興味が持てる。
- 賛否両論のバランスを配慮する
- 広聴部会の活動を必ず紹介する。広聴部会は3か月一度、必ずネタを作ってください！
- 基本的に3Pは、広聴部会の活動を基に話題・記事を組み立てる。

### 3. 当面の議会だより編集方針

1P・・・表紙

- 議会活動の特徴を1枚の写真、または組写真で表し、焦点（フォーカス）となった案件に関連する写真を「フォーカスの丸枠」に入れ、内容に導入する見出しにする。
- 当面、タイトルは今のものを継続する。よりよい表紙にふさわしいタイトルや名前があれば検討する。
- インパクトのある表紙になるようアイデアや工夫を部会で議論する。

2P・・・「かめまるくんとしんがくんの議会トーク」

- ■月議会の概要がよくわかるもの、子どもでも読んでわかるものを意識して
- 後のページに誘導する内容を可能な限り網羅して（誘導するページも記す）
- あまり詰め込まない。余白を十分にとる。

3P・・・基本は広聴活動のページとする。場合によっては議会トピックスとして特集を組むこともある。

- 広聴部会の活動を中心に取り上げる。年間の発行に合わせて、広聴部会で計画を立てて、原案は広聴部会で提出いただき、広報部会はレイアウトやよりよく見せる編集を担う。
- 議会活動や議員について興味関心、理解を得る内容にする。

4. 5P・・・従来から特集ページとしてきた。

○ 予算、決算の議会の時はその特集とし、内容も市の広報ではない議会の徹底審査の様子が伝わるものに工夫してきた。予算、決算でない議会の時（6月議会、12月議会）は、議員や議会活動についてテーマを決めて掲載してきた。（教えて議員さん、子ども議会など議会の取り組み、わがまちトークなど市民との交流、市民からの投稿、作品紹介、市民の声・意見の掲載など）

6P～7P・・・

- 常任委員会の審査報告 ○ 討論 ○ 議決結果 ○ 議決内容 等
- \* 6月議会号などでは、委員会の行政視察報告のページを確保する。

8P～15P・・・

- 各議員の一般質問（※3月議会は6会派の代表質問を大きめのスペースをとる）

16P...

- ■月議会を終えて(議長・副議長・監査が順番でしていたが、今後どうするか?)
- 議会を傍聴してのコーナーは、引き続き議会モニターさんから順次コメントをもらうこととする。
- 次回議会日程等、お知らせ ○ 編集後記は掲載しない
- 1年の最後(12月議会報告号)で、広報広聴会議の活動についてコメントを入れる。

## 令和7年度広聴部会 活動計画（案）

- 亀岡市議会基本条例に基づき、広聴部会として活動を行う。

### 【亀岡市議会基本条例】

#### （議会報告会等）

第8条 議会は、議会の説明責任を果たすとともに、市民の意見を議会活動に反映させるため、議会報告会を行うものとする。

2 議会は、議会の政策形成等に関して、市民との意見交換の場を多様に設けるものとする。

#### 1 議会報告会

○必要に応じて開催する。

#### 2 わがまちトーク（自治会／各種団体）

○市民と議員が一緒になり、「わがまち」について気兼ねなく意見交換できる場として開催する。

- ・ 広報誌（市議会だより）、ホームページへの掲載などにより公募を行い、開催希望のあった自治会及び各種団体と日程・テーマ等の調整を行い、開催する。（※令和7年10、11月頃 2～3組と開催予定）

#### 3 議場見学会

○子どもが議会に興味・関心を持ち、身近に感じていただく機会として開催する。

- ・ 昨年度に引き続き、夏の長期休業期間に議場見学会を実施する。

#### 4 街頭インタビュー

○必要に応じて開催する。

## 070219 広報広聴会議 部会長報告事項

◎広聴部会より、2月13日(木)に開催した部会の協議内容についてご報告します。

### 1. 今期の活動計画について

◎まず、「今期の活動計画」につきましては、「わがまちトーク」と「議場見学会」を継続して実施するほか、令和5年度に実施した「街頭インタビュー」や中高生を対象とした学生との意見交換会など、市民の意見を聴収する機会を積極的に提供していきたいと考えております。また、「わがまちトーク」については、本年秋（10、11月）頃を開催し、実施形態は前回参加者からも好評であった付箋等を用いたグループワーク形式で実施できればと考えております。「議場見学会」については、お子さんの夏季長期休暇期間である8月頃を開催を予定しています。各イベントの内容や対象者、広報・公募の方法等詳細については、今後の部会にて協議を重ね検討していく中で、随時委員長はじめ広報部会委員の皆さまのご意見もいただきながら進めていきたいと思っております。昨期までに開催したイベントは、前回開催時の反省点を踏まえてブラッシュアップをし、よりよい広聴活動ができるよう鋭意進めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 2. 市議会だより（広聴のページ）への掲載事項について

◎次に、「市議会だより（広聴のページ）への掲載事項」につきまして、ご報告します。昨期同様に、3月議会号には「わがまちトークの募集」、6月号には「議場見学会の募集」と「わがまちトークの開催について」、9月号には「議場見学会の活動報告」、12月号には「わがまちトークの活動報告」と「今期の振り返り」をそれぞれベースに掲載していきたいと考えております。また、街頭インタビューや学生との意見交換会、その他の広聴活動を実施した際には、活動報告として直近の市議会だよりの掲載内容に含めていきたいと思っております。「市民に分かりやすく情報提供すること」を目指す上では、市民がより身近に感じることのできる広聴のページの充実は重要であると考えておりますので、期日等を考慮した動きができるよう協議・決定からイベント開催・報告までを計画的に滞りなく進めていきたいと思っております。市議会だよりにつきましても、広報部会委員の皆さまと連携して取り組んでいきたいと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

◎以上で広聴部会からの報告を終わります。